

# 研究指導計画書

【記載例】

保健学生  
学籍番号  
氏 名

指導教員と学生で相談の上、記載をしてください。(指導計画ですので、主語は教員です。)

主指導教員

前年度から在学している学生については、実施経過・実績報告を記載してください。研究計画に変更等あるときは、指導計画に修正を加えてください。

学生の報告を確認後、教員が記載をしてください。記載後、氏名を自署の上、原本は教員が保管してください。写しを、大学院係に提出ください。

| 研究指導計画  |  | 実施経過・実績報告  |  |
|---------|--|--|--|
| 年次      | 研究指導計画<br>(指導教員が学生に直接研究指導を行う内容・頻度について必ず記載)   | 研究実施経過報告<br>(研究指導計画に沿って、進捗状況、実績、成果等を記載)  | 指導教員のコメント<br>(学生の取組み状況、指導内容、指導計画の変更等を記載)   |
| 1<br>年次 | 前期<br>1) コースワークと研究テーマの設定に関する助言指導。<br>2) 研究内容および研究計画の立案に関する助言指導。<br>3) 関連文献の検索・レビューの指導。<br>4) 抄読会に参加させ、欧文論文の読解指導。   | 1) 指導教員と相談の上、研究テーマを「●●●●●●●●●●」と設定した。<br>2) 研究内容を具体化するために、関連分野に関する情報検索法を学習し、研究テーマに関する文献を収集した。<br>3) 研究テーマの焦点化が図れず、指導教員の助言により看護領域だけでなく、●●領域の文献を追加した。<br>4) 文献レビューを通して、研究テーマに関する背景や問題の所在が理解でき、研究の最新の情報が把握できた。  | 1) 学生の希望する研究テーマの方向性について承認し、助言を行った。<br>2) 研究テーマに関連する文献収集を促した。<br>3) 看護学研究法演習での検討を通して、先行研究のまとめとテーマの焦点化を指導した。<br>4) 文献レビューがほぼ終了したので、研究テーマの焦点化を図るよう指導した。 |
|         | 後期<br>5) 演習や抄読会における討論を通して、研究戦略の設計、論述、論旨の展開等に関する指導。<br>6) 研究テーマの焦点化とそれに沿った研究戦略の設計・実施に関する指導<br>7) 研究計画書の作成に関する助言指導。<br>8) 構想発表会の開催。<br>9) 予備調査実施に関する指導。<br>10) 関連学会・研究会などに参加させ、当該分野の視野を広げさせる。<br>11) 大学院研究発表会に参加させ、学位論文作成・審査までのプロセスについて学ばせる。 | 5) 研究に必要な手法を学習した。<br>6) 指導を受けながら研究計画書を作成した。<br>7) 構想発表会において、研究グループの教員や院生から「●●」について助言を受けた。<br>8) 7)の助言に基づき「●●●」について文献検討を重ね、研究テーマを「●●●●●●●●●●」と設定し直し、研究計画を修正した。<br>9) 本調査を開始する前段階として、研究計画に基づき、予備調査を開始した。<br>10) ●●学会に参加し、研究意欲が高まった。<br>11) 修士論文の研究発表会に参加し、次年度に至る研究プロセスが具体化でき、プレゼンテーション技法や学位審査の実際について学んだ。 | 5) 焦点化された研究テーマについて研究計画書の作成を指導し、構想発表会を通して、更に修正を加えさせた。<br>6) 予備調査の実施結果を検討し、研究内容に反映させるよう指導した。<br>7) ●●学会に参加を促し、最新レベルの関連研究に触れ、情報交換の機会を持つように指示した。         |

|             |    |   |  |   |
|-------------|----|---|--|---|
| 2<br>年<br>次 | 前期 | 12) 予備調査の結果に基づく研究計画修正についての指導助言。<br>13) 上記5) 6) を継続<br>14) 倫理審査委員会審査の申請に関する指導。<br>15) 調査・実験等の実地指導。<br>16) 調査・実験等データの解析と解釈に関する指導。<br>17) 研究結果のまとめ方と考察，プレゼンテーションについての指導。<br>18) 関連学会・研究会等で成果を発表させ，他研究者との討論を通して，見識と技量を磨かせる。<br>19) TA として教育・研究に参画させ，当該分野の理解と技能を深めさせる。 | 12) 予備調査の結果分析を通して，研究内容を吟味し，研究計画の修正，確定を行った。<br>13) 倫理委員会に申請し，承認を得た。<br>14) 研究協力機関に協力を依頼し，研究計画書を提示し，説明・同意を得た。<br>15) 研究計画に沿って本調査に着手した。<br>16) これまでの結果を整理し，●●学会で発表した。<br>17) TA として教育・研究に参画し，●●●分野の理解が深まった。 | 8) 研究計画を具体化し，順調に実施している。<br>9) データの分析方法について，看護統計学演習の授業を再度，聴講するよう助言した。<br>10) これまでの結果を●●研究会で発表するように指示した。<br>11) 結果のまとめ方を指導した。 |
|             | 後期 | 20) 上記16) 17) を継続実施。<br>21) 論文中間発表会での他者からの意見も参考にし，論文作成の準備と作成に関する具体的な指導。<br>22) 論文の素稿作成。<br>23) 論文最終稿作成。<br>24) 論文投稿に係る具体的指導。<br>25) 学位論文審査に係る具体的な指導。  | 18) 論文中間報告会で報告し「●●●●」について助言を受けた。<br>19) 上記18) の助言を参考に，「●●●●」の検討を行った。<br>20) データの整備を進めるとともに，論文の素稿作成に着手した。<br>21) 論文最終稿を作成した。  | 12) 修士論文の作成状況を確認し，修正を繰り返すよう指導した。<br>13) 学位論文および関係書類の提出・確認   |

※長期履修者は長期の年次で作成する。また，履修期間の変更（短縮）や休学などの場合はその都度履修計画の変更をして下さい。

※指導教員はこの様式を用いて、学生へ毎年次はじめに研究指導計画を明示して下さい。

※指導教員が学生に直接研究指導を行う内容・頻度の記載例：原則週1回ゼミでの指導，月1回研究の実施経過の報告を求め指導を行う等。

※作成後は指導の記録として学生と指導教員がそれぞれ保管するとともに，学務課大学院係にも提出してください。。